令和7年度第1回安城市スポーツ推進審議会 議事録要旨

日 時	令和7年6月26日（木）午後2時30分～3時30分
場 所	東祥アリーナ安城 3階 第4会議室
出席委員	野村富雄委員、松尾和子委員、梅村まち子委員、香村直廣委員、大見翔委員、深谷真弘委員、香村恵介委員、太田妙子委員、杉浦誠委員、崔仁美委員
欠席委員	なし
事務局出席者	教育長（石川）、生涯学習部長（加藤）、スポーツ課長（松元）、スポーツ課長補佐（岩井）、スポーツ振興係長（近藤）、スポーツ振興係主査（夏目）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民憲章唱和 2 委員の委嘱 3 あいさつ 4 正・副会長の選出 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和6年度事業実績について <ol style="list-style-type: none"> ア 個別事業の実績について イ 目標値の達成状況について (2) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和7年度事業計画（案）について

1 市民憲章唱和

2 委員の委嘱

全委員へ委嘱

3 あいさつ

石川教育長

4 正・副会長の選出

会長には香村恵介委員を選出

副会長には深谷真弘委員を選出

選出後、香村恵介会長あいさつ

（会長より、発言時間の目安設定（原則1分以内）、委員名の議事録明記（議論の透明性の確保）、議題の了承は挙手制、検討事項への対応方法について提案あり）

5 議題

(1) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和6年度事業実績について

【事務局説明】資料P3～47

【質疑応答】

(香村恵介会長)

おはよう！ふれあいラジオ体操会について、取り組んでいない町内会がいくつかある。取り組んでいない町内会に対して何かアプローチはしているのか。

(事務局)

令和5年度は取り組んでいる町内会が7団体だったが、令和6年度は9団体となった。広報や市HP、案内通知の送付などで告知を行っているが、強制力はなく、あくまで協力をお願いするものとなる。今後情報発信の手段を増やすなど考えていきたい。

(野村委員)

町内会以外にも、老人クラブ主体でラジオ体操に取り組んでいるところもある。

(香村恵介委員)

ラジオ体操の普及啓発は重点施策のため、行っていないところへもっとアプローチすべきである。

(香村恵介会長)

ホームチームサポーター事業について、600万円程度の予算で実施されているが、企業側の負担と市側の負担はどのようになっているのか。

(事務局)

600万円の予算は市側の負担となる。

(野村委員)

アイシンウィングスクリニックやGTRニッセイクリニックは企業側の負担となる。

(香村恵介会長)

安城市は人口が減少局面に入っており、市側の負担が大きければ今後予算削減になっていくことが予想される。なるべく市の負担が少なく、企業主導の取り組みとしていけるような仕組みを作っていくことが必要だと思うがどうか。

(事務局)

国の補助金が入ってくるため、全額市が負担しているわけではない。

(野村委員)

特に観戦事業にお金がかかっている。

(事務局)

観戦事業については企業負担が多い。

(香村恵介会長)

民間主導の取り組みになっていけると良い。

(杉浦委員)

スポーツ指導者養成講習会への参加促進について、スポーツ有資格者が公開されている

ホームページが見つからない。

(事務局)

スポーツ協会のホームページで公開されていると思う。

(杉浦委員)

スポーツ協会のホームページも見たが見つけれなかった。名前を出しても良いとしているので、公開してほしい。

(香村恵介会長)

スポーツ指導者の有資格者数は示されているが、実際に指導に携わっている人は何人いるのか。

(事務局)

スポーツ協会と連携して取り組んでいる事業のため、人数については確認をとる必要がある。

(野村委員)

野球に関しては各チーム2人有資格者がいるため、市内に計14名は軟式野球連盟の有資格者がいる。

(香村恵介会長)

講習会の内容がアップデートされておらず、モチベーションが下がると思う。

(事務局)

外部評価で見直しすることとなったため、今後見直しをする予定である。

(杉浦委員)

講習会や有資格者制度は指導者とのマッチングを図るという役割はあるのか。そのための氏名公表だと思うのだが。

(事務局)

その点については、現状では公表されているだけとなっているため、検討の余地があると考えます。

(事務局)

いま説明した事業実績について了承をいただきたい。

(香村恵介会長)

事業実績については、審議会です了承するものではないという認識をしている。

(事務局)

議題であるので、これまでも了承をもらっていた。やめようということであれば、それなりの審議が必要となってくる。

(深谷委員)

事業実績や事業計画は次回の審議会でも議題となるため、了承をもらうべきだと思う。

(野村委員)

今回は了承をもらうべきで、次回からは検討をすべきではないかと思う。

(香村恵介会長)

了承というのは、確認しましたよというものか。

(野村委員)

そういうものである。

【全委員了承】

(2) 第2次スポーツ振興計画改定版に係る令和7年度事業計画(案)について

【事務局説明】資料P48～51

【質疑応答】

(深谷副会長)

市主要事業について、イベントを実施後に参加者がスポーツを続けるために行っている施策があれば教えてほしい。例えばスポーツ教室やANJOみんなのスポーツフェスティバルなどを単発的なもので終わらせず、地域のスポーツ団体やスポーツ協会と連携して「人」と「人」をつなげるようなものがあると良いと思うが。

(事務局)

「人」と「人」をつなげるようなものは直接的には行っていないため、これから考える必要があると思っている。

(香村恵介会長)

これから積極的に行っていくということか。

(事務局)

できることがあれば実施していきたいと思う。

(松尾委員)

自分はスポーツ推進委員をやっており、2年前から年5回ミニテニス教室をスポーツ協会の人に来てもらってやっている。楽しいと好評で市のクラブへ参加する人もいる。何かやらないとスポーツ普及にはつながらないと思うため、積極的に取り組んでほしい。

(香村直廣委員)

市内中学校施設開放の優先利用については感謝をしている。子どもたちのスポーツが豊かになるような取り組みを市として進めていただきたい。

(梅村委員)

高齢者の中には立って行うスポーツが難しい方がいるため、座って行うスポーツに熱が入っている。高齢者の人が楽しめると思う。

(大見委員)

他市では中学校の部活動からクラブチームへの移行がうまくいっていないところもある。野球について安城市は中学校からクラブチームへの移行がうまくいっていると思うため、引き続きお願いしたい。

(崔委員)

安城市スポーツ推進審議会を通じて、安城市が多くのことをやっていることがわかり良かったと思っている。自身で行っているヨガインストラクターの講座では、夜の時間帯について中学生の受け入れもしてほしいと言われた。安城市として中学生やその親と一緒に

やれるよう一度検討していただきたい。

(太田委員)

ラジオ体操について、働く母が多いという理由で、去年から老人クラブと協力して行っている。交流会のはじめや親子教室で行っている。外だと暑いとため、公民館で実施しているが、暑い時期のラジオ体操は公民館の中で行えると非常に良いと思う。

(香村恵介会長)

スポーツ教室について、園児を対象としたものがない。安城市として園児を対象としたものはやらないのか。

(事務局)

親子で参加できるスポーツ教室がいくつかある。

(香村恵介会長)

今の親子教室は未就園児が対象となっているため、就園児も対象とすべきだと思う。

(事務局)

その年代への厚い支援というのは何か理由があるのか。

(香村恵介会長)

その年代のスポーツがその後小学生以降のスポーツの好き嫌いに関わってくる。園だけのスポーツでは不十分だと思う。

(野村委員)

生活に近い場であるため、公民館でやれると良いと思う。

(香村恵介会長)

スポーツ課で一度検討していただきたい。

(深谷副会長)

スポーツを前面に出すと、スポーツには体育のイメージがあり、苦手な人など拒否感を示す人が一定数いる。グルメや音楽などと絡めたりすることでスポーツの楽しさが伝わるかもしれないためご検討いただきたい。

(香村恵介会長)

インカレ(全日本大学女子ソフトボール選手権大会)の令和7年度予算が400万円となっているが、これほど大きい理由や必要性はあるのか。削減できないのか。

(事務局)

安城市はソフトボールに力を入れているため、削減などは検討していない。例年は300万円の予算だが、今年度は第60回の記念大会であり、また次年度はアジア競技大会でしばらくできなくなってしまうため、今回盛大にやりたいという思いから100万円をプラスしている。予算が高いかどうかについては、経済波及効果も加味する必要がある、この予算については議会からも承認されている。

【全委員了承】

以上